

旅館・ホテル、旅行会社向け商品紹介

今回の旅館・ホテル、旅行会社向け商品特集のテーマは「インターネット予約システム」。販売拡大にはネット予約の強化が重要課題であり、それを支援する最新のシステムを取り上げた。また、スマートフォンでの宿泊施設の予約購入が増えていることを示したJTB総合研究所の「スマートフォンの利用と旅行消費に関する調査（2018）」も併せて紹介する。

最新のインターネット予約システム

タップ

アコモドロゴ



自社サイト向け予約システム

旅館・ホテル専門の情報システム会社、タップが提供する自社サイト向け予約システムは「イーコンシェルジュ(e-concierge)」。

日本語と英語、中国語繁体字とが利用できる。日本語のみや、特定言語に絞った宿泊プランの公開も可能だ。

もちろん「手間いらず」「TLーリンカーン」「ねっばん!」「らく通with」といったサイトコントロールとも連動している。

多言語対応の予約機能とクレジット決済機能は、特にインバウンド予約に強みを発揮する。両機能を併せ持つことで、キャンセル料とノーショー

小規模宿泊施設にも対応

ーチャージの設定、収受が確実となる。

同社の新製品、小規模宿泊施設向けシステム「accommod(アコモド)」にも注目したい。30室以下のホテル、旅館、民宿、ペンション、ゲストハウスなどに向けて開発したウェブ宿泊予約・宿泊管理システムで、日常業務や売り上げ管理、顧客管理を手持ちのPCやタブレット1台で行うことができる。

「インターネット無線LAN(Wi-Fi)環境があれば、どこでもフロントになる」(同社)。

宿泊予約システムとしては「宿泊プラン販売」「多言語対応」「クレジット事前決済」の各機能、宿泊管理システムとしては「お部屋割り機能」「在庫管理」「売上管理」「顧客管理」「各種帳票」の各機能を基本装備している。